

女子ホッケー 3カ国対抗トーナメント

大会名	3 Nations Tournament	日付	2010年4月30日 17:00 ~ 18:20
場所	ドイツ・ハイルブロン	天候	曇り一時雨
試合	リーグ第1戦	通算結果	日本 1勝

Country	RESULT	Country								
中国 CHINA	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>Full Time</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>Half Time</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table>	Full Time	0	-	3	Half Time	0	-	1	日本 JAPAN
Full Time	0	-	3							
Half Time	0	-	1							

Start	No.	Name	Card
✓	1	Ma Yibo	
✓	3	Huang Xuejiao	
19	5	Ma Wei	
✓	6	Sun Sinan	
✓	8	Fu Baorong (C)	
10	9	Li Shuang	
✓	10	Gao Lihua	
✓	13	Sun Zhen	
41	15	Zheng Qiuling	
DNP	16	Zhang Yimeng(GK)	
✓	17	Li Hongxia	
✓	18	Ren Ye	
✓	21	Zhao Yudiao	
✓	22	Song Qingling	
31	23	De Jiaojiao	
17	25	Xu Xiaoxu	
DNP	29	Zhang Lang	
✓	31	Zhang Lei(GK)	
監督		Susan Zhang	
UMPIRE		Willox Annabelle(GAL)	

Start	No.	Name	Card
✓	1	浅野祥代 (GK)	
✓	2	三浦恵子	
✓	3	加藤明美	
	4	村上藍	
✓	5	中川未由希	
✓	6	眞鍋敬子	
✓	8	山本由佳理	
✓	9	中島史恵	
✓	10	駒澤李佳 (C)	
13	11	千葉香織	
DNP	12	吉川由華 (GK)	
	14	植田彩	
✓	15	新井麻月	
✓	16	永山加奈	
✓	20	小野真由美	
50	21	阿久津智恵	
DNP	22	坂井志帆	
13	23	爲藤夏弥	
監督		安田善治郎	
UMPIRE		Sanders Hannah(ENG)	

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	19	山本由佳理	FG	0 1
JPN	45	中島史恵	FG	0 2
JPN	65	永山加奈	FG	0 3

Country	Min	Name	Action	Score

3カ国対抗トーナメント第1戦目は、中国との対戦である。

(前半)

日本のセンターパスにより試合は開始された。

開始早々から日本は中国の激しいプレスにより、なかなかパスを繋ぐことが出来ない。

中国は15分・16分と立て続けにPCを取得し得点チャンスを作るが日本の堅い守備に阻止される。

すると日本は徐々に中盤からの早めのプレスによりリズムを掴み、試合の主導権を握り始める。

19分中国の瞬間の隙をつき、ライトから永山が素早いリスタートで強引にサークルインし、ゴール前の為藤にあわせシュート、リバウンドを山本がダイレクトシュートで決め、日本は先制点を挙げる。

その後、日本は勢いに乗り優位に試合を進めるが、追加点を奪えず10分で前半を終了する。

(後半)

後半に入ってもなお、積極的に中国陣内に攻め込む日本は45分レフトから永山がリバースパス、ゴール前の中島がそれを冷静にタッチで決め2点目を挙げる。

中国は26分、ライトから強引にドリブルインし反則を誘いPCを取得するが、日本のDF陣の落ち着いた守備により決めることが出来ない。

集中力が切れた中国に対し、日本は攻撃を緩めず積極果敢に攻め続ける。

すると60分新井がサークル内でドリブルから中国DFをかわずと体勢を崩しながらもシュート、そのリバウンドを永山が押し込み3点目を挙げる。

その後も中国を寄せ付けず、30分で試合を終了する。

日本は世界ランキング3位の中国に対して序盤は攻めこまれたものの、中盤以降からは積極的なプレスから山本・駒澤・中川のパスワークによってリズムを作り出し、30で勝利した。

中国	6	シュート数	11	日本
	4	PC数	2	

記載責任者: 藤原 信幸
校閲: 安田善治郎